

要 旨

二十一世紀は競争的な時代である。知識的な経済化、グローバル化、高度的な情報化などの特徴を持っている。この日一日と明らかに情勢の下で、国際文化交流は広さ、深さ、また頻度において、絶え間なく拡大してきた。違う国家と民族の間の文化はお互いに影響にも強化してきた。文化交流は参照、比較、吸収及び相補の過程である。英語は国際言語としての重要性が益々大きくなってきた。国際コミュニケーションにおいて、メールは主に英語で書かれている。英語は主要な言語として、各国の交流に大きな役割を果たした。世界各国の経済技術の交流にも促進した。つまり、国際政治、経済、軍事、化学、文化、貿易などの領域において、英語は非常に重要な交流手段である。

最近の二十年、大学の英語教育の地位は明らかに高まった。しかし、良くないところは、まだ存在している。大学英語は基礎知識をしっかりと身に着ける人材を育成するだけではなくて、高い応用能力を持つ人材にも育てるという目的である。世界多様化、グローバル化の背景の下で、国際経済、技術競争に加入できる国際化、多面型な人材は必要だ。日中両国ともにアジアでは重要な位置を取っている。隣り合わせ、昔から深い歴史関係を持っていた。文化、経済など領域においても、密接な交流を持っていた。本文章は中国と日本の英語及び英語教育の歴史と発展から分析して行きたいのである。各発展段階の歴史性を分析すると、各段階の社会状況と英語発展の関係を纏める。したがって、英語は日中両国の文化と言語などの分野にどれほどの影響を与えると証明したい。英語は日中両国にとって、大きな重要性とも証明したいのである。

経済は国家と民族の命脈である。経済の発展をめぐって、国家、民族及び地区の間で政治、文化、貿易などの領域の交流が益々盛んになってきた。世界にも多元化の動きがみられる。どちらの交流でも、どんな変化されても、主旨が変わらない。接触、会見、講和、相談、協商などの必要がある。以上の原因によって、外交舞台の魅力が高まっている。外交では典型的な異文化交流である。

科学の発展は、人と人の時間と空間の距離を縮めさせたが、心理的距離を縮めさせない。違う国家と民族は違う歴史背景、違う文化伝統、特定の文化背景を形成し、その特定の文化背景は違う価値観、考え方、社会規範などを形成し。同じ言語を使っても、通じない時もある。換言すれば、言語と文化は非常に密接な関係を持っている。言語は文化の一部として、存在している。鏡のように、一つの民族の文化を反映している。文化は言語の使用と発展に影響を与えている。本論文は中国、日本、アメリカなどの国家の文化がその三カ国の言語の表現方式に大きな影響を与えることを分析したい。従って、言語と文化はお互いに影響と制約されていることを明らかにした。英語は一つの言語として存在している。英米文化は英語の形成に大きな影響を与えた。世界の共通語として、多くの国家で自国の文化と合わせて、自国の特徴を持っている英語に変更されている。その故に、現在の大学英語教育の中に、異文化交流という目的を取るべきだ。学生たちに文化から英語を勉強させて、欧米とアジアの考えた違うところを理解させて、実際に役立つために学ぶといく目的を達するために、努力すべきだ。

近年以来、アジア英語は益々盛んになってきた。アジア国家も、英語の応用能力を更に重視してきた。他のアジア国家の英語を理解することも大学英語教

育の大切な仕事になった。シンガポール、フィリピンなどのアジア国家は英語を第一の言語としても、各国の英語が自分の鮮明的な特徴がある。中国、日本などのアジア国家は第一の言語は英語じゃなくても、二番目の位置を取っている。本論文の第三章では英語のアジアにおける、その重要性に基づいて、違う角度からアジア国家の英語と英米英語の違うところと特徴を分析していく。アジア人の間に英語でうまくコミュニケーションを取れない問題を減少して、違う英語の文化背景を理解させるという目的を持っている。従って、アジア各国は各領域において、交流と提携を促進する。

本論文は大学英語教育中の文化教育を強化するという主旨を持っている。文化は英語に影響を与える重要性から、アジア英語の重要性及び相違性を分析していく。日中大学生の英語課程に対する要求と就職の傾向の調査を通して、文化教育が英語教育中の必要性和重要性を見出す。異文化交流の人材を育成することは英語教育の最終の目的である。

以上、述べたように、現在、各国人のコミュニケーションが益々密接になってきた。各国も英語は世界共通語としての重要性が認識した。大学の英語教育は英語教育の重要な部分であって、一つの国家の英語能力を持っている人材を育成する重要な段階である。異文化交流は盛んでくることに従って、文化教育が大学で重視された。欧米英語を理解することは今までの大学英語教育の方向と目的である。しかし、現在、アジア各国の間に様々な交流と協力が増えてきた。アジア各国の英語を理解することは大学の英語教育の新しい発展方向になるべきだ。将来、英語はアジアの言語として、アジアの外交舞台にとって、掛け替えがないのである。